

平成29年度

事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

公益財団法人 平和堂財団

事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

単位：千円（ ）内は予算

<事業の状況>

I. 教育振興、教育活動への助成

22,107千円(22,020千円)

1. 学生並びに生徒に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内の高等学校等の本県居住の大学進学者に対する育英奨学金の給付

12,600千円(12,600千円)

- ①平成29年度から新規給付する奨学生5名と継続給付中の奨学生16名、あわせて21名に、一人当たり月額50千円(年額600千円)の大学進学者育英奨学金12,600千円を前・後期に分け、前期分を5月に、後期分を11月に給付した。
奨学金を給付した奨学生21名は、次のとおりである。

学年	給付開始年	人数
5回生	平成25年度	1名
4回生	平成26年度	5名
3回生	平成27年度	5名
2回生	平成28年度	5名
1回生	平成29年度	5名

- ②平成29年12月7日に、大学進学者奨学生選考委員会を開催し、応募者31名のうち平成30年度から新規給付する奨学予定者5名を選考し、大学合格を前提に、平成30年度からの奨学金給付を予約した。
(奨学予定者の補欠もあわせて8名選考)

③平成29年8月20日に奨学生の集いの開催 **232千円(200千円)**

11名が参加(1回生4名、4回生5名、OB2名)

(2) 滋賀県内高等学校等の出身者で滋賀医科大学大学生に対する育英奨学金の給付

1200千円(1200千円)

- ①滋賀医科大学で新規給付する1回生1名と継続奨学生2回生1名に対し月額50千円(年額600千円)の滋賀医科大学育英奨学金を給付600千円を前・後期に分け、前期分を5月に、後期分を11月に給付した。

(3) 滋賀県内の高等学校等の在学学生に対する育英奨学金の給付

5,520千円 (5,520千円)

①平成29年11月6日に高校在学学生奨学生選考委員会を開催し、平成29年度から新規給付する奨学生11名（新入学生対象の奨学生5名／応募者17名及び在学学生を対象とした奨学生6名／応募者33名）を選考し、継続給付中の奨学生12名とあわせて23名に一人当たり月額20千円（年額240千円）の高校在学学生育英奨学金5,520千円を前期と後期に分け給付した。

なお、新規給付の奨学生には、前期分と後期分を一括して12月に給付した。

奨学金を給付した奨学生23名は、次のとおりである。

(継続給付 12名)

学年	給付開始年度	人数
3年生	平成27年給付	5名
	平成28年給付	2名
2年生	平成28年給付	5名

(新規給付 11名)

	学年	人数
新入学生	1年生	5名
在学学生	2年生	5名
	3年生	1名



8月20日「奨学生の集い」



1回生4名・4回生5名・卒業生2名参加

2. 青少年教育活動への助成

(1) 「第9回 いきいきすくすく淡海っ子活動」への助成

2,055千円 (2,000千円)

自然や文化とのふれあいを通して、心豊かで元気な子どもたちの育成を図ることを目的に、日ごろ各地域で子どもたちの育成活動を行っている人たちや団体・グループが、平成29年度内に滋賀県内で実施の活動や事業に対し、活動資金の助成を公募。

県内の35団体からの申請があり、平成29年7月13日に選考委員会を開催し、21団体を選考し、その活動を支援した。

助成対象 21 団体および助成事業名、交付額は、次のとおりである。

(単位：円)

団体名	所在地	事業名	助成金額
大津市障がい児ホリデースクール北班	大津市	ホリデースクール	50,000
長浜小学校合唱団	長浜市	「歌で地域を笑顔にする長小合唱団」	147,000
小谷城戦国資料館友の会	長浜市	小谷城こどもガイド隊	171,000
特定非営利活動法人子育て研究会	大津市	「音の玉手箱」みつくすじゃむぱーていー 2017	190,000
特定非営利活動法人 あめんど	大津市	冒険キャンプ	114,000
たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」	高島市	「減災 アクションクラブ」	133,000
特定非営利活動法人ひこね文化デザインフォーラム	彦根市	オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーによる楽器クリニック	173,000
あざい歴史の会	長浜市	ジュニアサポーター	40,000
CLUB ATTRAC TION	野洲市	びわこぐるっと一周キャンプ	70,000
湖西環境研究会	大津市	自然エネルギー体験学習	46,000
坂田FCスポーツ少年団	米原市	秋期合宿	68,000
エコアイデアキッズびわ湖	草津市	豊かな琵琶湖の恵み(漁、食文化)を体験し、伝え、交流する。	156,000
湖東バスケ男子	東近江市	プレイヤーズファースト「新しい部活のカタチ」	127,000
みくもハッピーコーラス	湖南市	児童合唱団育成事業	14,000
野洲吹奏楽団ジュニアバンド	野洲市	ふれんどりーこんさーと	160,000
河西学区社会福祉協議会子育て支援部会	守山市	わいわいひろば 伝統文化体験	36,000
特定非営利活動法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー	東近江市	定例活動(創作活動)・作品展	110,000
甲賀流日曜バスケの会	甲賀市	バスケットボールを通じて体力づくり	55,000
歌話団	大津市	「ハギハッキョへおいでよ!」	39,000
虎姫子ども体験キャンパス実行委員会	長浜市	とらひめ子どもぶんか祭	41,000
草津市合唱連盟	草津市	国民文化祭「合唱の祭典 in 奈良」出演	115,000
			2,055,000

(2) 「滋賀県次世代文化芸術センター」への助成

500千円(500千円)

すべての子どもたちに、芸術家の方が、本物の芸術に触れる体験の機会をつくることで、豊かな心を育てる文化芸術体験学習の事業に500千円の支援を実施した。(18校で開催)

II. 文化・芸術の振興活動、新進芸術家の育成活動への助成

25,551千円(24,050千円)

1. 新進芸術家活動等への助成

(1) 新進芸術家活動等助成

9,080千円(8,200千円)

① 芸術奨励賞の選考および贈呈

2,700千円(2,700千円)

ア. 美術部門、音楽部門のそれぞれの部門で芸術奨励賞選考委員会を開催し、美術部門は平成30年1月17日に書類と作品写真による審査を行い、音楽部門では書類と音源による一次審査をし、平成30年1月8日にひこね市文化プラザで二次審査を実演奏で選考した。

なお、美術部門は、近畿・東海・北陸の芸術大学及び県内の文化施設、芸術関係団体などから推薦のあった7名のうちから候補者4名を選考した。

また、音楽部門については、県内の文化施設、芸術関係団体及び全国の芸術大学などの教育機関に一般公募の案内や広報を行い、25名の応募者があり、そのうち候補者3名を選考した。

イ. 平成30年3月11日に贈呈式を行い、美術部門4名、音楽部門3名の受賞対象者に美術300千円、音楽500千円の芸術奨励賞、計2,700千円を贈った。

贈呈した芸術奨励賞受賞者7名は、次のとおりである。

・美術部門 4名

西澤裕一郎(洋画)

増田 晴香(工芸)

金井 大輔(工芸)

田中 希京(書)

・音楽部門 3名

中井 萌(打楽器)

落合真子(ヴァイオリン)

山本大心(ヴァイオリン)



② 芸術奨励賞受賞者への活動支援

800千円（800千円）

ア. 当財団美術部門受賞者である大町憲治、宮本ルリ子、石山哲也氏他6名が、それぞれ開催する個展に助成した。

イ. 当財団音楽部門受賞者である若林かをり、宮本妥子、塩見 亮氏の開催するコンサートに助成した。

③ 芸術奨励賞（音楽部門）受賞者の海外留学等助成 2,700千円（2,700千円）

当財団の芸術奨励賞受賞者が、更に専門的な知識や技術を修得するために、海外の教育機関へ留学希望者を奨励賞受賞者より公募を行い、平成29年1月9日にひこね市文化プラザで演奏を行ない、久保菜々恵氏が助成対象者となった。

海外留学助成者は、次のとおりである。

・継続給付（2年目）

久末 航、中嶋俊晴（平成27年9月～29年8月）

・新規給付（1年間）

久保菜々恵（平成29年9月～30年8月）

④ 芸術奨励賞受賞者によるミニコンサート（委託費） 2,880千円（2,000千円）

平和堂大型店舗（セントラルコート等）ミニコンサートを企画し、滋賀・京阪・北陸地区大型店13店舗で演奏（2回/日）を実施した。



(2) 「第23回 新進芸術家美術展」の開催

3,389千円 (3,200千円)

平成13年度～平成28年度までの美術部門の芸術奨励賞受賞者44名の作品、49点を一堂に集め、受賞者たちに作品の発表の場を提供し、日ごろの創作活動の成果を紹介するための「第23回新進芸術家美術展」を、滋賀県をはじめ県内の文化、芸術関係団体などの後援と榊平和堂の協賛を得て開催した。

部 門	氏 名	出陳人数	出陳点数
日本画	大西健太、河本万里子、北川安希子 高田学、忠田 愛、早川裕子、藤野裕美子 西嶋 豊彦、楠本衣里佳	9	10
洋 画	一居孝明、伊庭広人、岩崎恵子、宇津木裕子、 岡本里栄、小泉広明、福村真美、藤井俊治、 藤永覚耶、矢野信司、山岡明日香、池原悠太 松井亜希子、川端 千絵、大西 孝幸	15	16
彫 刻 彫 塑	伊庭靖二、小野麻代、深田充夫、吉居寛子 佐野 耕平	5	5
工 芸 陶漆染	石山哲也、大町憲治、小松純 宮本ルリ子、津守 愛香	5	6
書	押谷呉璧、坂本 清竹、高井敦史、筒井和彦 野瀬晴風、藤居孝弘、藤田恭敏、本城研石 岡田 清香	9	11
写 真	東山昌弘	1	1



○各会場の開催期間と来場者は、次のとおりである。

- ・ビバシティ彦根 ビバシティホール

平成29年10月21日(土)～10月29日(日)

9日間 788人

- ・草津市立クレアホール

*4日はロビーコンサートも開催

平成29年10月31日(火)～11月5日(日)

6日間 277人

(3) 芸術奨励賞受賞者による「第1回鳩の音楽会(通算20回目)」の開催(委託費扱い)

5,342千円(6,000千円)

当財団の、平成28年度の音楽部門の芸術奨励賞受賞者たちと、今までの受賞者たちに舞台発表の場を提供するとともに、日ごろの演奏活動の成果を紹介するため20回目開催を記念し、「リサイタルの夕べ」改め「鳩の音楽会」コンサート形式で当年度受賞者と歴代受賞者によるクラシック演奏会とし滋賀県をはじめ県内の文化芸術関係団体などの後援と憐平和堂の協賛を得て、3会場で開催した。

9月22日(金) 高槻現代劇場 中ホール 378人

9月23日(土) ひこね市文化プラザ エコホール 316人

9月24日(日) びわ湖ホール 中ホール 568人

	氏名	専攻
一部	山本 英	フルート
	小林 千夏	ピアノ
	南 さゆり	ソプラノ
	下林 一也	バリトン
二部	中川 彩	フルート
	山本 英	フルート
	大西 伶奈	ハープ
	小林 千夏	ピアノ
	南 さゆり	ソプラノ
	下林 一也	バリトン



(4) 音楽部門芸術奨励賞選考会(海外留学生含む)

1,595千円(1,500千円)

(委託費扱い)

平成29年度音楽部門の芸術奨励賞選考会開催費用

平成30年1月8日ひこね市文化プラザ・エコホールにて開催

2. 文化・芸術活動等への助成

(1) 文化・芸術事業への助成

4, 890千円 (4, 150千円)

助成先	内 容	金 額
びわ湖芸術文化財団	「第22回 湖国を描く絵画展」への協賛・助成とともに優秀作品1点を選び「平和堂財団賞」(賞状および記念品)を授与する。	540千円
琵琶湖ホール	i. オペラへの招待「ヘンゼルとグレーテル」	500千円
	ii. 声楽アンサンブル学校巡回公演助成	300千円
ひこね文化デザインフォーラム	「クラシックへの目覚めwithOEK」助成	400千円
びわ湖芸術文化財団	次世代育成ユースアター「美味しいメロディ改」助成	300千円
文化・経済フォーラム滋賀	文化で滋賀を元気に！賞への助成	300千円
その他	文化・芸術公演等への助成	2550千円

*その他1 = 学校訪問演奏「音の扉プロジェクト」長浜・草津市内小学校7校9回公演(6月・11月)

武田優美、宮本愛子、林育子、陣内亜紀子4名による演奏会

*その他2 = 学校訪問お話し会「創造授業・夢のプロジェクト」彦根市内小学校 2校にて



(2) 児童図書製作助成および寄贈

1, 255千円 (1, 000千円)

教育・文化の一環として、県内の小学校・図書館・公民館等に滋賀県のすてきな人々や場所や生活を題材にした児童図書を寄贈した。(「にじいろ宝箱」製作1, 000冊)

- ・小学校・お話サークル等697カ所
- ・図書館・公民館等244カ所
- ・その他34カ所

*製作・発送費用等で1, 055千円の助成

*作家・画家計20名に対して、活動費・諸経費費用として200千円を助成

Ⅲ. 各種アマチュアスポーツ活動等への助成並びに優秀選手の海外遠征への助成

1,110千円(1460千円)

1. 優秀スポーツ選手への助成

(1) 優秀選手への海外等派遣費の助成

210千円(560千円)

平成30年2月にアマチュアスポーツ(特に高校生)優秀選手3名を選考し、一人当たり70千円の海外等派遣費210千円を助成した。

選手名	高校名	競技種目	派遣大会
遠藤 環太	堅田	カヌー	U-23男子日本代表ジュニア選手権
今西 陸人	堅田	カヌー	アジアカヌースプリント選手権
島田 隼輔	瀬田工業	ボート	アジアジュニア選手権大会

2. スポーツ行事・大会等への助成

(1) 「第16回 びわ湖かいつぶりレガッタ」への協賛助成

400千円(400千円)

平成29年10月7日(土)に琵琶湖漕艇場(大津市)で開催された「第16回 びわ湖かいつぶりレガッタ」(滋賀県体育協会・滋賀県立琵琶湖漕艇場主催)に協賛し、400千円を助成した。

(2) 平和堂財団杯「小学生駅伝大会」・「中学生駅伝大会」への助成

500千円(500千円)

平成29年11月19日(日)に希望が丘文化公園の特設コースで開催された「びわ湖男女駅伝フェスティバル2017」(滋賀県体育協会等主催)での「平和堂財団杯小学生駅伝大会・中学生駅伝大会」に協賛し、助成した。

IV. 地球環境の保全活動及びその研究、教育並びに普及活動への助成

25,383千円 (24,150千円)

1. 環境学習活動等に対する支援

(1) こどもエコクラブ活動への助成

580千円 (650千円)

滋賀県に登録している「こどもエコクラブ」の活動資金を助成し、発表大会でもある活動交流会の参加チームや優秀なクラブへ副賞、また全国フェスティバルへの選拔出場クラブへも助成を実施した。

活動交流会助成	参加賞一件当たり2万円で参加9団体に助成	180千円
優秀賞関連	大賞5万円(1団体) TANAKAMIこども環境クラブ	50千円
	奨励賞 2万円(5団体)	100千円
その他	壁新聞掲載賞 1万円(9団体)	90千円
	児童参加商品(下敷き、ノート)120名	60千円
全国フェスティバル	選拔出場「TANAKAMIこども環境クラブ」助成	100千円



春のトチノキ観察会



博物館夏祭り



こどもエコクラブ活動交流会

(2) 子ども環境教育活動への助成

2,116千円 (2,000千円)

学校や地域での教育や環境体験プログラムを通じて子どもたちの自然環境保全の認識を高め、その活動を通し環境推進を目的とする教育活動・研修活動等を支援した。

助成先	内容	金額
びわ湖クルーレス・ソーラーボート大会実行委員会	平成29年8月5日に普及部門13チームが滋賀大学附属小学校プールで、8月26・27日に先端技術部門6チームがマキノサニービーチで開催された「クルーレス・ソーラーボート大会」に協賛助成した。	300千円
環境と科学のフェスティバル実行委員会	平成29年7月17日(月・祝)に彦根ビバシティホールで、県内の博物館が連携し、科学を通しての環境学習、体験学習を通して知的研究心の創造を培うことを目的に開催された「博物館夏祭り」に協賛助成した。	200千円
びわ湖トラスト	<親子環境学習>・・・財団と共催 ①megumiに乗ってびわ湖環境学ぶ(夏休み2回) ②びわ湖でカヌーに乗って環境を学ぶ(8月2日) ③巨木トチの木を観察し環境を学ぶ(春・秋2回)	983千円 199千円 434千円

2. 地域における環境保全活動への助成

(1) 環境保全活動（夏原グラント）への助成 **15,087千円（14,000千円）**

しがNPOセンター委託費⇒**7,600千円（7,500千円）**

滋賀県及び京都府の豊かな環境の保全および創造のために自主的におこなうNPOや市民団体、または学生を対象に公募を行い、平成29年3月19日（日）・20日（月・祝）プレゼンテーションによる選考を実施し、新規25団体応募⇒18団体を選考した。2年目継続11団体応募⇒11団体、3年目継続12団体応募⇒12団体選考した。ステップアップは新規1団体・2年目1団体⇒計2団体を選考した。

<その他取組としては>

本年度新設のファーストステップ助成⇒12団体を選考

立ち上げ支援、小規模事業の支援として助成。助成終了後、一般助成への応募が要件となります。最長2年まで継続可とします。

*新規18団体（うち8団体京都エリア）*2年目11団体（うち4団体京都エリア）

*3年目12団体（うち4団体京都エリア）

*ステップアップ2団体（山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会、プロジェクト保津川）

*ファーストステップ12団体（うち3団体京都エリア）

助成団体一覧は13ページ～15ページを参照してください。



甲賀木の駅プロジェクト運営委員会



放鳥's



国際ボランティア学生協会 I V U S A 京都



公益財団法人 平和産財団 第6回「夏原グラント」助成団体発表記念交流会 平成29年4月9日（3）アバンティシアビル

夏原グラント贈呈式

V. 児童福祉事業への助成

5,991千円(10,400千円)

1. 養護児童への助成(県内児童福祉施設等)

(1) 新入学児童(小学1年生)へのランドセル等の贈呈助成 **455千円(900千円)**

県内児童福祉施設等に入所の児童を対象とし、次年度に小学1年生となる児童にランドセル・文具セット及び、ギフト券1万円分を贈呈した。

*合計9名に寄贈(ランドセル8名分、文具セット・ギフト券9名分)

(2) 自動車免許証取得の補助助成 **1,109千円(3,000千円)**

4月1日現在18歳児童を対象とし、前年10月～当年9月末までの免許取得・申請とする。自動車免許取得時の領収書を参考に上限30万円の助成とする。

*合計4名に助成

2. 養護児童に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内児童福祉施設の児童で、大学進学者に対する育英奨学金の給付(5月,11月)

1,200千円(1,200千円)

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

*合計2名に助成

(2) 滋賀県内児童福祉施設の児童で、専門学校等進学者に対する育英奨学金の給付(5月,11月)

600千円(1,800千円)

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

*合計1名に助成

(3) 上記育英奨学金対象者に入学金・諸経費費用の助成

900千円(1,500千円)

(1)(2)の対象者に入学金・諸経費費用の助成をおこなう。

一人当たり初年度30万円(5月)を給付する。

*合計3名に助成

3. NPO法人への助成

1,500千円(2,000千円)

滋賀県内の自立援助ホームへの助成

(運営資金、スタッフ人件費等)

*1カ所(NPO法人 四つ葉のクローバー)に助成

4. 児童養護施設に児童本寄贈

227千円(0千円)

滋賀県内児童養護施設7カ所に合計144冊を寄贈(5月)

夏原グラント 2017年度活動団体一覧

<一般助成>

	新 規 団 体 名 ・ 事 業 名	助成金
1	日本熊森協会滋賀県支部 スギ・ヒノキ人工林から命を育む自然の森へ琵琶湖水源の森づくりプロジェクト	500,000
2	かぶと山を守る会 里山の保全と遊歩道の維持管理	400,000
3	番場の歴史を知り明日を考える会 古道再生による里山の保全	400,000
4	滋賀県高島市今津町浜分 浜分環境クラブ（通称：やなちゃんクラブ） 休耕農地を活用し、地域に自生し絶滅の恐れのある花菖蒲・杜若・メダカ・タガメ等、水生動植物の保護育成園の整備事業	400,000
5	放鳥's 野性傷病鳥獣の救護追跡事業	400,000
6	認定特定非営利活動法人 ブルーシー阿蘇 太陽熱回収用へどろヒートポンプの開発	250,000
7	特定非営利活動法人 芦生自然学校 京都・美山千年の川プロジェクト～命溢れる川づくり～	400,000
8	特定非営利活動法人 加茂女 竹の魅力発信基地の創設	470,000
9	森のようちえん どんご園 森のようちえん おやこの会	300,000
10	金田学区まちづくり協議会 蛇砂川をきれいにし、ホタルの増殖とホンモロコの遡上・育成を促進する事業	180,000
11	のとがわエコ水車の会 豊かな水の恵みを活かそう	100,000
12	富之郷里山クラブ 里山保全活動	100,000
13	NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク 琵琶湖とともに～沖島『エコの島・安心して暮らせる島』に～	400,000
14	認定特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド 市民共同発電所「おひさま発電所」設置施設と共に進める環境学習	400,000
15	甲賀木の駅プロジェクト運営委員会 甲賀木の駅プロジェクト「森林を愛する人を増やそう計画！！」	500,000
16	NPO法人 国際ボランティア学生協会IVUSA 京都 北山保全活動	184,000
17	乙訓の自然を守る会 京都縦貫自動車道西代防災基地の緑化活動	197,000
18	特定非営利活動法人 やましろ里山の会 里山農園周辺環境整備事業	200,000

	継続2年目	団体名・事業名	助成金
1	特定非営利活動法人	家棟川流域観光船 家棟川の生態回廊の再生—ビワマスが遡上する川をつくる	500,000
2	湖国ひとまちネット	仮称 北近江びわこ見守り隊	100,000
3	エコパートナーシップうじたわら	協働によるふるさとの自然環境保全を図るための基礎資料調査	50,000
4	特定非営利活動法人	子どもと川とまちのフォーラム 水遊び体験を取り戻す—子どもは川の子プロジェクト—	300,000
5	やす緑のひろば	野洲川北流跡自然の森創生プロジェクト	400,000
6	びわ地域づくり協議会	竹生島タブノキ保全プロジェクト	250,000
7	特定非営利活動法人	里山保全活動団体 遊林会 Re梵大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～	300,000
8	近江・里山の自然と文化財を学ぶ会	ウイングプラザ(長浜市・米原市)一般廃棄物最終処分場周辺的环境・動植物・文化財・里山(びわ湖の水源山林)の保全活動	200,000
9	鹿背山元気プロジェクト	21世紀の「鹿背山ものがたり」をつくろう～里山と都市の好循環を目指して	250,000
10	特定非営利活動法人	社叢学会 伏見稻荷大社 理想の森づくり	300,000
11	古橋のオオサンショウウオを守る会	大谷川周辺に生息するオオサンショウウオの生態系保全活動	500,000

	継続3年目	団体名・事業名	助成金
1	豊かな杜づくり隊	日本百名城「観音寺城石垣」整備プロジェクト	300,000
2	余呉地域づくり協議会	余呉湖周辺の保全・緑化の推進事業	300,000
3	びわ湖りす森倶楽部	未来に続く生物多様性の森育成事業	350,000
4	特定非営利活動法人	オーガニック土の塾 遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業	500,000
5	滋賀大学「環境学習支援士」会	未来のびわ湖人育成のための学習支援事業	350,000
6	特定非営利活動法人	京おとくに・街おこしネットワーク 西山古道の自然環境保全に関する実践活動	350,000
7	特定非営利活動団体	ビオトープネットワーク京都 鴨川生き物調査	260,000
8	ぼてじゃこトラスト	ぼてじゃこトラスト人材育成事業	360,000

9	松尾寺山登山道保存会 松尾寺山の里山整備活用事業	300,000
10	特定非営利活動法人 京都・森と住まい百年の会 森林・林業の多角的な体験・学習を通じた人材育成	200,000
11	一般社団法人 比良里山クラブ びわ湖流域赤シソ栽培ネットワーキング事業 “Team Hira Perilla”	500,000
12	総山管理委員会 里山保全・整備活動	198,000

	ステップアップ助成 団体名・事業名	助成金
1	特定非営利活動法人 プロジェクト保津川 いかだにのってみよう ～山・川・まちのつながりの再生～	500,000
2	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 山門水源の森の生物多様性保全と獣害対策	500,000

<ファーストステップ助成>

*ファーストステップ助成は、活動実績の年数を問わずこれを機に団体を立ち上げる場合も対象

1	一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会 八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と市民が親しめる環境づくり	100,000
2	虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会 虎御前山の里山保全・整備活動	100,000
3	泉エコーくらぶ ふるさとを次代につなぐ！！	100,000
4	中世木ビジョン委員会 桂川の源流域で地域資源を活かした里山、棚田の保全活動	100,000
5	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議(ecoつ宇治) 再生可能エネルギー創出の為に淀川水系の水利用	93,000
6	環境美化ネット安土 ごみ減量	100,000
7	滋賀植物同好会 湖西のハマエンドウの保全活動	95,000
8	はりえ一期大福会 はりえ・かばた・びわこ感謝祭	100,000
9	南丹たんぼ組 棚田の復活と除草剤を使わない米づくりの普及による環境保全	100,000
10	しが農業女子100人プロジェクト 滋賀県内で農業を営む女性の協力強化と後進農家の育成プログラム開発	100,000
11	猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会 猪子山・地獄越え山道整備事業	100,000
12	滋賀県苗木ネットワーク(略称SPN) 近江の苗木イノベーション事業	100,000